

2026年度 SSI（総探）

【第4回】

先行研究を調べてみよう



2026年5月19日（火）



チーム編成後の流れ

まずは研究計画を立て、「**プレ研究計画書兼報告書**」にまとめる。

次スライドで説明

研究計画

1. チームで**研究テーマ**を設定する。
2. **研究テーマ**に関する先行研究を調べ、「**問い**」を立てる。
3. 「**問い**」をもとに、**リサーチクエスション**を立てる。
4. **リサーチクエスション**に対して「**仮説**」を立てる。
5. **仮説**検証のための調査方法を検討し、計画する。
6. 調査を実施して、**仮説**を検証する。
7. 調査結果をもとに分析・検討・考察し、まとめる。

研究報告

本日の活動

ワーク① 「プレ探究ノート (1)」 前回の続きから

まずは個人でそれぞれ考える。



全員が書き終わったら、チームで共有する。



チームとしての研究の方向性を決める。

高校47期 SS1 (総合探究)		プレ探究ノート	
★ 研究計画兼報告書にまとめる前段階の記録シートとして個人でまとめます ★			
チーム番号		クラス	1 -
共同研究者		番号	
		氏名	
? チームメンバー全員の組番号と氏名を記載 (例: 640 芝浦 太郎 740 稲 花子)			
(1) 研究テーマを決めよう!			
ワーク①	※ワーク①は「生成AI」を使わずに、自分で考えましょう。 まず、チーム編成時に、チームメンバーで考えていた漠然とした研究のテーマ(方向性)を【仮テーマ】として設定します。 その後は一度、 チームで相談はせず、個人で 下記のことに取り組む時間としましょう。 【仮テーマから連想されるキーワード】をWikiサーフィンなども活用しながら、5個以上挙げてください。 【このテーマに興味を持った理由】を自分の言葉でしっかりと述べましょう。 - このテーマについて、【検討したい3つの視点】を設定してください。		
【仮テーマ】(チーム編成時に考えていた「メンバーの研究したいことの共通項」)			
【仮テーマから連想されるキーワード】 *Wikiサーフィンなどで調べてこう!			
【このテーマに興味を持った理由】 *ここが研究の原動力となる最も大事な部分! 自分の言葉でしっかりと述べよう。			
【検討したい3つの視点】 *下の「視点の例」を参考にして3つの視点を設定しましょう。			

ワーク② 「プレ探究ノート (2)」 に着手

研究テーマ設定 + 先行研究調査着手 が 本日の目標

最終目標 プレ研究計画書兼報告書の完成

下記の内容をまとめた**報告書**を作成

(1) 研究テーマ

(2) 研究背景

(3) 研究目的

(4) 研究手法

(5) 研究結果

(6) 考察・結論

(7) 今後の展望

夏休み前

ここまでの内容を
中間計画発表

前期末まで

高校45期 SSI (総合探究)		プレ研究計画書兼報告書	
チーム番号		研究者氏名	
※チームメンバー全員の氏名を記入			
具体的な研究手法の計画・実施・まとめを記録するシートです。一つの研究計画の実施が終わったあとで、さらに新しい研究計画を実施する場合には、その都度、このシートに記入します。			
(1) 研究テーマ			
(2) 研究背景 (研究動機やテーマについての先行研究、一般的な理解など)			
(3) 研究目的			
①リサーチエスチョン			
②リサーチエスチョンの意義			
③仮説(現段階でリサーチエスチョンに対してどのような答えがあると予想しているか)			

1チームあたり
1ファイル
(共同編集)

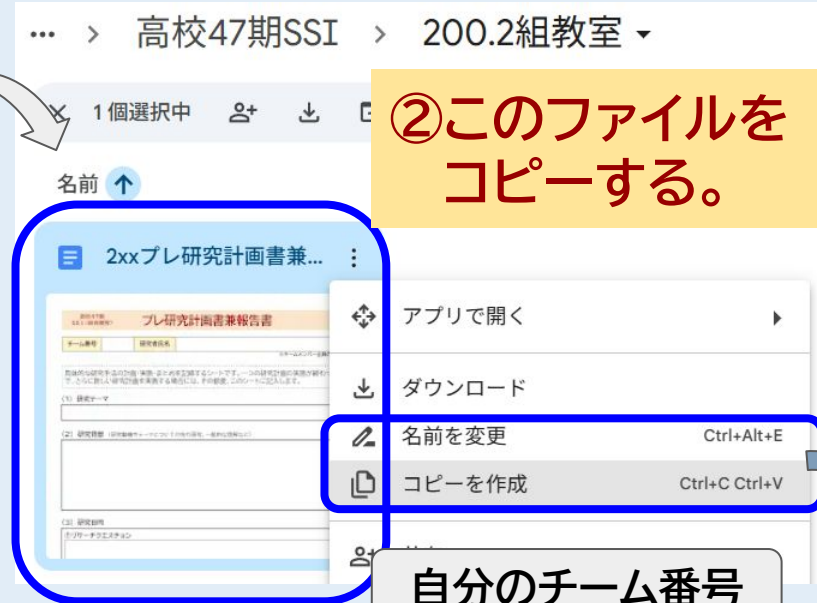
プレ研究兼報告書の作成

研究報告書保存先：

<https://drive.google.com/drive/folders/1MsPV3GIRbTGerm6kcXzF0ySPb9UtH6J2>

※「シン・全ての教員・生徒が見られる共有ドライブ」内の下記フォルダへのリンクです。

1_【教員】授業・クラス等>教科>探究>SSI・Ⅱ・Ⅲ>高校47期SSI



③コピーしたファイルの名前を変更する。

ファイル名: **201**研究計画兼報告書

「プレ研究ノート」をベースにして…

プレ研究計画書兼報告書

高校45期
SSI (総合探究)

チーム番号

研究者氏名

※チームメンバー全員の氏名を記入

具体的な研究手法の計画・実施・まとめを記録するシートです。一つの研究計画の実施が終わったあとで、さらに新しい研究計画を実施する場合には、その都度、このシートに記入します。

(1) 研究テーマ

(2) 研究背景 (研究動機やテーマについての先行研究、一般的な理解など)

最終成果物

(3) 研究目的

①リサーチクエスト

1チームあたり
1ファイル
(共同編集)

と予想しているか)

その前段階として…

プレ探究ノート

★ 研究計画兼報告書にまとめる前段階の記録シートとして個人でまとめます ★

子一ム番号

クラス	1
-----	---

番号

氏名

100

共同研究者

(1) 研究テーマを決めよう！

↑ チームメンバー全員の相番号と氏名を記載 (例: 640 芝浦 太郎 740 柏 花子)

ワーク①

ワーク① ※ワーク①は「生成AI」を使わずに、自分で考えましょう。

まず、チーム編成時に、チームメンバーで考えていた漠然とした研究のテーマ(方向性)を「仮テーマ」として設定します。

- その後は一度、**チームで相談**はせず、**個人で**下記のことに取り組む時間としましょう。
- **【仮テーマから連想されるキーワード】**をWikiサーフィンなども活用しながら、5個以上挙げてください。
 - **【このテーマに興味を持った理由】**を自分の言葉でしっかりと述べましょう。
 - このテーマについて、**【検討したい3つの視点】**を設定してください。

【仮テーマ】（チーム編成時に考えていた「メンバーの研究したいことの共通項」）

【仮テーマから連想されるキーワード】 *Wikiサーフィンなどで調べていこう

【このテーマに興味を持った理由】 ＊ここが研究

【検討したい3つの視点の例】「視点の例」を参考にして3つの視点を設定しましょう。

【検討したい3つの視点】 下の「検討したい3つの視点」を設定しましょう。

！となる最も大事な部分！自分の言葉でしっかりと述べよう。

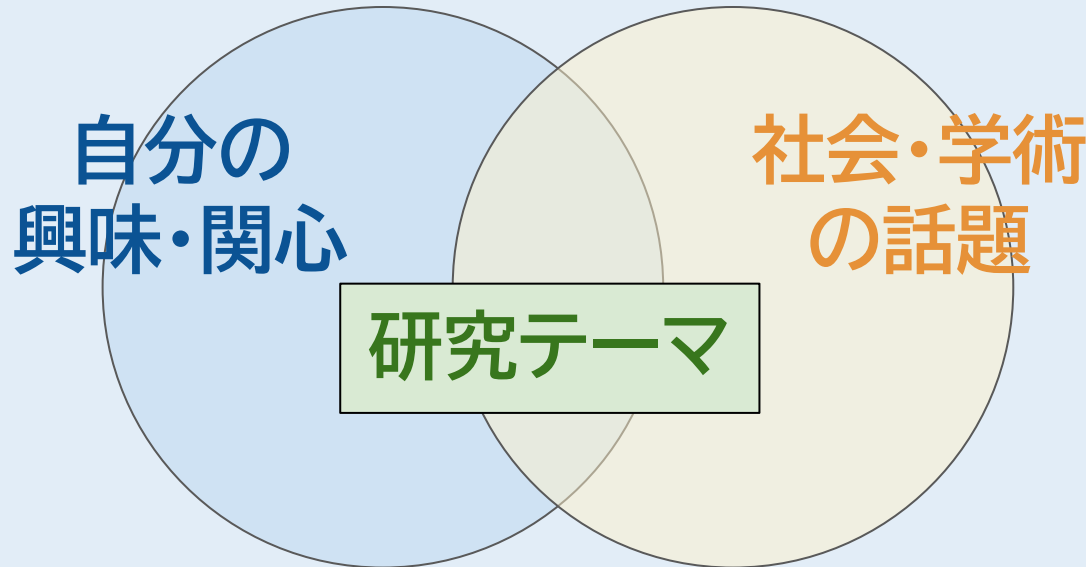
ンなどで調べていこう！

		りとなる最も大事な部分！自分の言葉でしっかりと述べよう。
--	--	------------------------------

1人1ファイル(個別編集)

【STEP1】 研究テーマ

- ★「何に焦点を当てて研究を行うか」を示すもの
- ★「〇〇について研究する」の「〇〇」に相当する部分



高校47期 SS1 (総合探究)		プレ探究ノート			
★ 研究計画兼報告書にまとめる前段階の記録シートとして 個人 でまとめます ★					
チーム番号		クラス	1 -	番号	
氏名					
共同研究者					
↑ チームメンバー全員の組番号と氏名を記載 (例: 640 芝浦 太郎 740 柏 花子)					
(1) 研究テーマを決めよう!					
ワーク①	※ワーク①は「生成AI」を使わずに、自分で考えましょう。 まず、チーム編成時に、チームメンバーで考えていた漠然とした研究のテーマ(方向性)を【仮テーマ】として設定します。 その後は一度、 チームで相談はせず、個人で 下記のことに取り組む時間としましょう。 【仮テーマから連想されるキーワード】をWikiサーフィンなども活用しながら、5個以上挙げてください。 【このテーマに興味を持った理由】を自分の言葉でしっかりと述べましょう。 - このテーマについて、【検討したい3つの視点】を設定してください。				
【仮テーマ】(チーム編成時に考えていた「メンバーの研究したいことの共通項」)					
【仮テーマから連想されるキーワード】 *Wikiサーフィンなどで調べていこう!					
【このテーマに興味を持った理由】 *ここが研究の原動力となる最も大事な部分! 自分の言葉でしっかりと述べよう。					
【検討したい3つの視点】 *下の「視点の例」を参考にして3つの視点を設定しましょう。					

【STEP1】 テーマ設定のポイント

- ❑ 興味・関心との関連があるか？
- ❑ 社会的な課題もしくは学術分野との関連を見出せているか？
- ❑ 抽象的で広くとらえられるような言葉を具体的な文言に言い換えられているか？
- ❑ 研究テーマで取り上げた課題の現状について、客観的なデータを収集し、理解できているか？
- ❑ 社会科学系の研究の場合：
 - 関連する制度や法律、歴史的背景を理解しているか？
- ❑ 自然科学系の研究の場合：
 - 関連する原理や原則、理論(定理など)を理解しているか？

(1) 研究テーマを決めよう ワーク①

※「生成AI」を使わずに、自分で考えましょう。

Step1【仮テーマ】

チーム編成時にとりあえず設定した仮テーマを書く。



Step2【仮テーマから連想されるキーワード】

仮テーマから連想されるキーワードを列挙する。



Step3【このテーマに興味を持った理由】



Step4【検討したい3つの視点】

「視点の例」を参考にして3つの視点を設定する。

高校47期 SS1 (総合探究)		プレ探究ノート		
★ 研究計画兼報告書にまとめる前段階の記録シートとして個人でまとめます ★				
チーム番号	クラス	1 -	番号	氏名
共同研究者				
† チームメンバー全員の組番号と氏名を記載 (例: 640 足浦 太郎 740 船 花子)				
(1) 研究テーマを決めよう！				
ワーク①	※ワーク①は「生成AI」を使わずに、自分で考えましょう！ まず、チーム編成時に、チームメンバーで考えていた素案とした研究のテーマ(方向性)を【仮テーマ】として設定します。 その後は一度、 チームで相談はせず、個人で 下記のことに取り組む時間としましょう。 【仮テーマから連想されるキーワード】をWikiサーフィンなども活用しながら、5個以上挙げてください。 【このテーマに興味を持った理由】を自分の言葉でしっかりと述べましょう。 - このテーマについて、【検討したい3つの視点】を設定してください。			
【仮テーマ】(チーム編成時に考えていた「メンバーの研究したいことの共通項」)				
【仮テーマから連想されるキーワード】 *Wikiサーフィンなどで調べていこう！				
【このテーマに興味を持った理由】 *ここが研究の原動力となる最も大事な部分！自分の言葉でしっかりと述べよう。				
【検討したい3つの視点】 *下の「視点の例」を参考にして3つの視点を設定しましょう。				
カテゴリ	視点の例			
社会の仕組み	政治、法律、経済、地域社会、国際関係、税金、都市計画、雇用、労働、メディア、観光、公共サービス、格差、リーダーシップ			
人間と文化	倫理、心理、教育、文化、芸術、歴史、哲学、言語、宗教、スポーツ、ファッション、コミュニケーション、思考プロセス、エンターテインメント、伝統継承			
暮らしと安全	技術、医療、福祉、環境、防災、働き方、食文化、交通・モビリティ、エネルギー、情報セキュリティ、買い物(消費行動)、健康維持、資源サイクル、住宅、SNS			

(1) 研究テーマを決めよう ワーク②

※「生成AI」に次のプロンプトを入力しよう。

役割

あなたは高校で課題研究を指導する経験豊かで優秀なメンターです。

目的

私が入力した情報を踏まえ、私が高校生として、調査・検証可能なレベルの研究テーマを決定するための思考のヒントになる問いかけをしてください。

制約事項

- 具体的な研究テーマやタイトルの提案は一切しないでください。
- 私の思考を広げ、深めるための【問いかけ】に徹してください。
- 選択した3つの視点について各1問、全体を貫く本質的な問いを1問、計4問のみ提示してください。

入力情報

- 仮テーマ:「【仮テーマ】」
- 自分で考えたキーワード:【仮テーマから連想されるキーワード】
- このテーマに興味を持った理由:【このテーマに興味を持った理由】
- 検討したい3つの視点:【検討したい3つの視点】

ワーク①で
書いたもの

(1) 研究テーマを決めよう ワーク③

※「生成AI」を使わずに、自分で考えましょう。

AIが出力した「問いかけ」に対して、自分の直感で、チームの研究テーマにつながりそうなものを1つ選ぶ。

「なぜ自分はこれに惹かれたのか？」
「今の自分ならどう答えるか？」
をメモしておこう！

ディープフェイクは人間の尊厳を揺るがすことにもつながるのか。
怖いなあ…。

1. 教育の視点

AIが知識の提供や論理的な正解を出す役割を担うとき、それでも人間が「学校」という集団の中で時間をかけて学ぶべき「能力」や「経験」とは、具体的に何だと考えますか？

2. 技術の視点

キーワードにある「Human in the Loop（人間による介入）」において、AIの精度が極限まで高まったとき、人間が最後に「決定ボタン」を押す役割を担い続けることは、果たして人間の主体性を守ることになるのでしょうか。それとも、単なる形式的な手続きになってしまうのでしょうか？

3. 倫理の視点

「ディープフェイク」のように、AIが人間の外見や声を完璧に再現できるようになったとき、私たちは何を根拠に「目の前の相手は、唯一無二の人間である」と信じ、その存在を尊重すべきだと思いますか？

全体を貫く本質的な問い

AIが「便利な道具」の域を超えて、人間の知能や役割の一部を代替し始めたとき、それでもなお、AIには決して代替できず、人間だけが引き受けなければならない「責任」や「痛み」とは何でしょうか？

(1) 研究テーマを決めよう ワーク④

※「生成AI」を使わず、ディスカッションを。

これまでの個人ワークの結果を共有

「チームの研究テーマにつながらそうな問いかけ」を発表し合う
メンバーの独自の視点の尊重 & ズレや重なりを楽しむ



チームとして解決すべき「一つの研究テーマ」にまとめる

【チームで設定した研究テーマ】

今後、研究が進んだときに変わる可能性もありますが、まずは現時点で設定したものを記し、変更になった際には、更新していきましょう。(

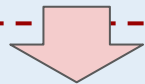
現時点での研究テーマ

研究の途上でテーマを更新することも可能です！

(月 日 現在)

(2) 先行研究を調べてみよう

先人たちが行った研究の諸業績をふまえる。



先行研究



文献

自分が行おうとしている
研究テーマと同じ分野で
先に発表されている研究



インターネット



論文

(2) 先行研究を調べてみよう

☆ 参考になりそうな資料(論文・報告書・記事など)の書誌情報とリンクを貼っておこう！

[CiNii Articles]

主に日本で出版された学術論文や図書、雑誌に関する学術情報データベース。日本の大学の博士論文、大学図書館の収蔵図書についても検索ができる。日本(語)に特化した内容を調べる場合は、非常に有効である。

[Google Scholar]

学術専門誌や論文、書籍、要約など、さまざまな分野の学術資料を検索できるサービス。手軽に使用できるので、多くの研究者が利用している。対応言語も多い。

他に、特許も含めて検索できるJ-GLOBAL、様々な分野から検索できるJ-STAGE(J-STAGE)、また官公庁などが公表している報告書などがある。
いずれも、オンラインアクセスできる文献は限られているので注意すること。

- ① 書誌情報(作者・タイトル・書誌情報) ② リンク(参考にしたWebページのURLなど)
③ 上記の資料に書かれている内容について簡潔にまとめよう。

例	①書誌情報	剣持武彦 『夏目漱石『草枕』とロレンス・スターン『トリストラム・シャンディの生活と意見』』 『清泉女子大学紀要』
	②リンク	https://seisen.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=280&file_id=18&file_no=1
	③内容	イギリス留学を経た夏目漱石が英文学の知見を踏まえてどのような文学作品を創作したか。
1	①書誌情報	
	②リンク	
	③内容	

(2) 先行研究を調べてみよう

情報源	メリット	留意点
書籍	体系的にまとまっており、用語の定義や歴史的背景を知るのに最適。 査読や校閲を経て出版されているため信頼性が高い。	出版から時間が経過している場合、最新の情報ではない可能性がある。 著者の経歴を確認すること。
一般的なWebサイト	最新のニュース、速報、個人の多角的な意見に触れられる。 公的機関(.go.jp)の統計データなどは一次ソースとして有用。	「誰が書いたか」が不明なものが多い。 広告目的や個人の主観が混じりやすい。 必ず他の情報源とのクロスチェックを行うこと。
日経電子版	経済・産業の専門家による分析。 社会的なトレンドや「今、何が課題か」という社会実装の視点を得られる。	経済的側面が強調される傾向にある。 科学的・中立的な視点を持つために、学術論文などとの併用が必要である。
学術論文	特定の「問い」に対する厳密な検証結果。 引用文献が明記されており、知識の根拠(エビデンス)として最も強力である。	専門用語が多く難解。 実験条件が限定的なため、その結果が常に一般化できるとは限らない。

ワーク② (2) 先行研究を調べてみよう

日経電子版

学校で配布されているIDを利用しよう！

- キーワード検索の活用

関心のある分野のキーワードで検索し、過去1年間の推移を追う。

- 「関連記事」を追う

一つのニュースだけでなく、文末にある関連リンクを辿ることで、課題の背景にある産業構造や社会的要因が見えてくる。

- 社説・解説記事

記者の「分析」は、自身の仮説を立てる際のモデルケースになる。

ワーク② (2) 先行研究を調べてみよう

Google Scholar

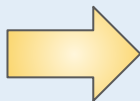
全世界の多言語論文を網羅。
引用数から研究の広がりや影響力を
探ることができる。

CiNii

国内の論文・図書に特化しており、
信頼性の高い日本語文献を探すのに
最適である。

NotebookLM

研究のアシスタントとして活用



1. リサーチクエスト

筆者は「AIが言葉を1つずつ順番に処理しなければならない」という、これまでの常識をどうすれば打ち破れるか？という課題を解決しようとしています。

従来のAI（RNNなど）は、人間が本を読むように文章を左から右へ順番に読み込んでいました¹。しかし、この方法だと文章が長くなると昔の情報を忘れてしまったり、コンピューターの得意な「一斉に処理する（並列処理）」ができなかったりするという大きな悩みがありました^{1, 2}。筆者たちは、この「順番に読む」という仕組みを完全になくし、言葉同士の関連性（Attention）だけで文章を理解できないかと考えたのです^{3, 2}。

（アテンションこそがすべて）」について、ご
やすく整理・解説します。

ワーク② (2) 先行研究を調べてみよう

 NotebookLM

プロンプトの例



この論文を高校生にも分かるように要約して



この論文を以下の項目に沿って、専門用語を避けつつ高校生が理解できるように整理し、私の研究に活かすためのアドバイスをください。

- リサーチクエスチョン: 筆者はどのような課題を解決しようと試みていますか？
- 調査・実験の手法: その問いに答えるために、具体的にどのような方法でデータを集めましたか？
- 主要な結論: 調査の結果、どのような事実が明らかになりましたか？
- 手法の適用: この論文で使われている調査手法の中で、高校生の私でも再現できそうな、あるいは参考にすべきポイントはどこですか？
- リサーチギャップ: 論文内で「今後の課題」や「制限事項」として触れられている内容から、私の研究で深掘りできそうな「まだ分かっていないこと」を提案してください。

次回の予定

次回 → 5月26日(火) 6限

- プレ探究ノート(2) 続き
- プレ探究ノート(3)

研究テーマに基づいて、
いくつかの「問い」を立てます。

STEP1	研究テーマを決める
STEP2	リサーチクエスションを導く
STEP3	仮説を立てる
STEP4	適切な研究方法を選ぶ
中間目標	研究計画書を作成する
STEP5	調査を実施する
STEP6	結果をまとめて考察し、結論を導く
STEP7	研究内容をまとめる